

第3回 空港建築施設の脱炭素化に関する検討WG

第2回WGにおけるご意見への回答

国土交通省 航空局
令和4年9月

1. サンプル空港抽出の整理

■既存建築施設の省エネに向けてのサンプル空港の抽出方針

<既存建築施設の省エネ化検討>

▶ 大規模空港（羽田、成田、関西、中部）の省エネ検討

・旅客ターミナルビル（大規模）	羽田空港	国際線旅客ターミナルビル(増築前)	約150,000㎡
・貨物ターミナルビル（大規模）	成田空港	貨物ターミナルビル	約 13,000㎡

▶ 地域特性のある空港の省エネ検討

・旅客ターミナルビル（中規模）	那覇空港	国際線旅客ターミナルビル(増築前)	約 23,000㎡
・旅客ターミナルビル（小規模）	花巻空港	旅客ターミナルビル	約 7,000㎡
・貨物ターミナルビル（中規模）	福岡空港	貨物ターミナルビル	約 10,000㎡

▶ その他空港施設の省エネ検討

・格納庫	中部空港	中部飛行検査	約 8,000㎡
・庁舎管制塔	神戸空港	庁舎管制塔	約 2,000㎡
・官庁施設	福岡空港	電源局舎	約 500㎡



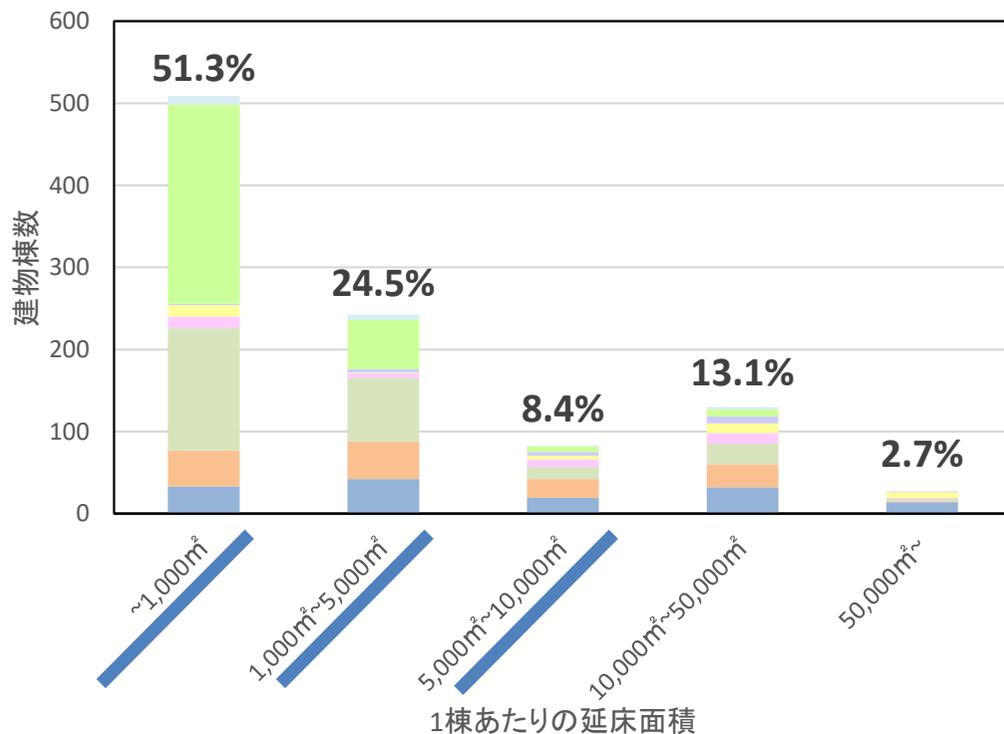
■サンプル空港による省エネ効果検証

- ① 既存建築施設の省エネ計算(WEBPRO)結果を基に、各施設に導入可能な省エネ手法を抽出し、CO₂排出量削減効果を検証する。
- ② 計測結果と省エネ計算(WEBPRO)との差異について運用形態を基に分析を行う。

1-2 サンプル空港抽出の整理 (2)

その他空港施設の省エネ検討

その他空港施設の床面積分布



- ①旅客ターミナル
- ②貨物ターミナル
- ③航空機格納庫、航空機燃料施設、整備工場
- ④機内食工場、エネルギー供給施設、廃棄物処理施設
- ⑤立体駐車場
- ⑥複合テナントビル
- ⑦管理施設
- ⑧その他

■サンプル空港

5,000㎡~10,000㎡で多い用途(③)

 ⇒ 中部空港 中部飛行検査格納庫
約8,000㎡を対象

1,000㎡~5,000㎡で多い用途 (⑦)

 ⇒ 神戸空港 庁舎管制塔
約2,000㎡を対象

~1,000㎡で多い用途 (⑦)

 ⇒ 福岡空港 電源局舎
約500㎡を対象

※その他空港施設：旅客/貨物ターミナルビルを除く施設